

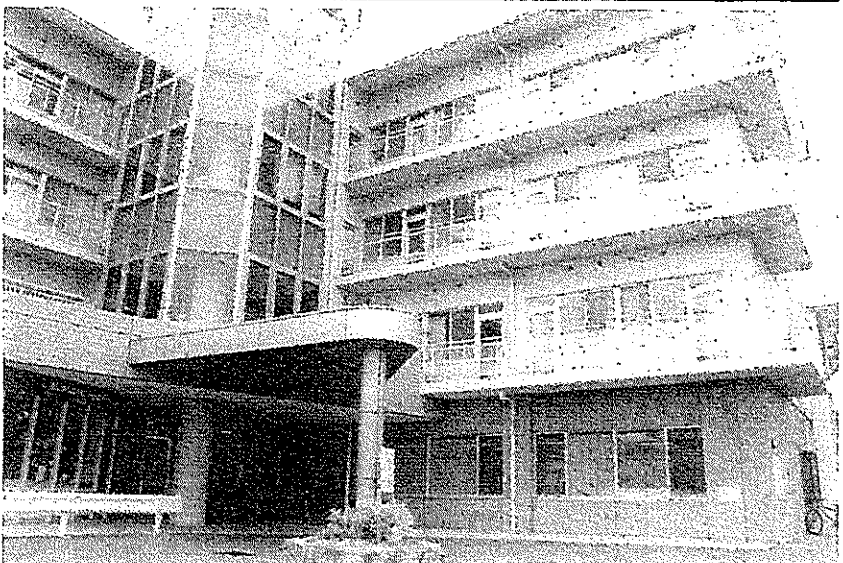
# 周南市在宅医療介護連携支援センター

## 徳山医師会内に5人常駐

周南市は1日、医療と介護の連携を目的とした相談窓口「市在宅医療介護連携支援センター」を同市東山町の徳山医師会在宅支援部内に開設する。同センターの責任者、藤井博子部長は「医療と介護の『つなぎ』が必要な場面で、両者の連携に力を入れていきたい」と話している。

ホームヘルパーやケアマネジャーら介護関係者が、往診や訪問診療を希望するお年寄りに自宅から最寄りの病院を紹介するための相談や、医療関係者が退院する患者に在宅介護サービスを紹介する際の相談など、介護と医療の両関係者からの相談を無料で受け付ける。

在宅支援部の職員5人が常駐。介護支援専門員、看護師、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士が電話やファクス、窓口で直接



「市在宅医療介護連携支援センター」がオープンする  
徳山医師会在宅支援部＝周南市

対応する。受け付けは月～土曜の午前9時～午後5時。問い合わせ、相談は同センター（電話0834・27・40005）へ。

医療と介護の両方のサービスが必要とする高齢者に自分らしい暮らしをしてもらおうと、市が徳山医師会に委託した本年度の新規事業。委託料は年間310万円。